

施策名 木の文化が息づくまちづくり

2114 所管局: **都市計画局** 共管局: **産業観光局**

概要 町家や社寺などの伝統的な木造建築物や、漆器や木工品などの木の文化を守り育てるため、木造建築物の建設の誘導、技能の継承支援などを進める。

総合評価
C (c) 客観指標評価については、杣人工房の利用者数が増えているものの、戸建住宅に占める木造住宅の割合が若干減少していることから全体としてはどちらとも言えない。市民の生活実感もどちらとも言えない。両評価を総合的に勘案して施策の目的はそこそこ達成されていると評価する。

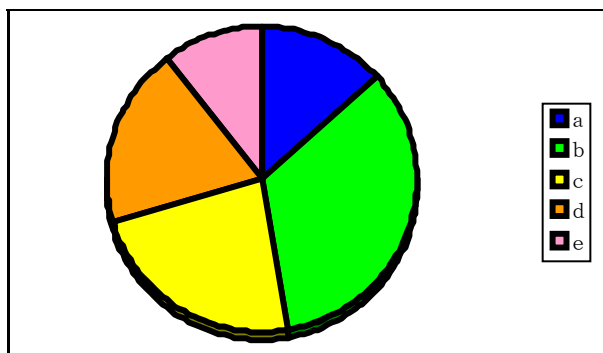
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価 C (c)

指標名	前回値	最新値	目標値	達成度	評価
杣人工房の利用者数(人)		570	500	114.0%	b (-)
戸建住宅に占める木造住宅の割合(%)	93.2	93.1			d (d)
戸建住宅の着工件数に占める木造住宅の割合(%)	90.7	90.8			b (b)
(準)外観上の特徴が残り建物状態が良好な京町家の割合(%)		26			- (-)

○この施策に関する市民生活実感評価

まちなかには文化を感じさせる木造建築がきちんと残っている。



答a: そう思う	72	13.4%	(14.6%)
答b: どちらかというと思う	183	34.0%	(33.3%)
答c: どちらとも言えない	125	23.2%	(22.0%)
答d: どちらかというと思わない	102	18.9%	(17.0%)
答e: そう思わない	57	10.6%	(13.1%)
有効回答数	539		
市民生活実感評価			C (c)

※ ()は昨年の評価結果及び数値を表しています。

<参考>この施策実現のための主な事業

- 事業名**
- (従)「合併記念の森」創設事業
 - (従)林業活性化対策(京の山杣人工房事業)
 - (従)林産物需要拡大センター
 - (従)京北森林公園
 - (従)北部振興拠点イベント実施
 - (従)木造住宅振興支援事業(安心すまいづくり推進事業に含む。)